

編集後記

今年はグレゴリオ暦でいわゆるミレニアム（Millennium）に当たる格別の年である。そこでこれを期してわが芸術学部の記事に「芸術世界」というタイトルを付けることにした。芸術世界というタイトルは平凡といえば平凡であるが、これを選んだ理由は二つある。

第一の理由は、わが記事の特色は研究論文ばかりでなく作品が掲載されていることである。普通に記事というと活字の羅列しか思い浮かばないが、わが記事には写真やらデザインの色とりどりの華やかな作品が載っていて、読む楽しみばかりでなく見る楽しみも与えてくれる。これからこの記事を作品発表の場として活用して、それこそ芸術世界に花を咲かせて欲しいと願っての選定である。

第二は英文表記にかかわることだが、Artworld という複合語は米国の哲学者アーサー・ダンターの用いた言葉で、米国の芸術哲学の関係者では一寸したはやり言葉になっていて、日本語ではどうということがなくても米国では新鮮な響きをもっている。私にはかつてフッサールを用いてはやらせた生活世界（Lebenswelt）という言葉の思い起こさせるのだが、容易に複合語を作れる日本語やドイツ語と違うのがこの語の新鮮なゆえんであろう。肝心なその意味内容をここで解説する余裕はないが、芸術学部で直接芸術に関係する授業を担当していない教員であっても芸術学部に関連している以上アートワールドのメンバーであるといえるので、そういう方々もまったく遠慮することなくどしどし研究論文を投稿していただきたいと願っている。

ともあれ新たなタイトルのもとに本記事が今後ますます充実・発展するよう祈り、教員諸氏のご協力を仰ぎたい。

なお今回、表紙を飾る作品を田沼武能教授にお願いした。快くお引受下さり、力感あふれる写真作品を寄せられた同教授に感謝申し上げます。

平成12年 3 月

記事委員会 委員長 利 光 功

芸術世界

東京工芸大学芸術学部記事 Vol. 6

2000年 3 月31日 発行

編集 東京工芸大学芸術学部
記事委員会

発行 東京工芸大学芸術学部
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5
Tel. (03) 3372-1321
Fax. (03) 3372-1330

印刷 有限会社 啓文堂 松本印刷
東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12